

蕨 広報WARABI 1

2012/平成24年
わらび・725

- 平成24年1月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 12月1日現在人口：72,624人 前月比 -18人
男 36,968人 女 35,656人
世帯数：36,097
人口密度：14,240人/km²



前年度優勝チームの山本結愛さん(第二中学校・写真左)の指導の下、練習に励む西小学校の児童(西公民館)



やればやるほど蕨を好きに 郷土かるたのシーズン到来

蕨の歴史や文化を楽しく学べる、「改訂版わらび郷土かるた」。まちへの愛着も深まると、大人気です。2月19日には、市内の児童による、わらび郷土かるた大会が開かれます。現在、各地域の子どもたちは大会に向け練習中。皆さん、優勝目指してがんばってくださいね。

——— 目 次 ———

- 平成24年新春座談会…………… 2
- 特集：成年式…………… 6
- いきいきシルバーライフ… 8
- 蕨いま むかし…………… 8
- 親と子のニュースの小窓…10
- 子どもクラブ……………11
- 輝いていま ひと……………12
- 中山道まち歩き……………12



「新あったかプラン」を推進
一同 新年明けまして、おめでと
うございます。
小泉 小柳枝さんは、昨年、蕨市
けやき文化賞を受賞されましたね。
市長 落語家として全国でご活躍
されながら、地元蕨の文化の向上
にもご貢献いただき、市長として、
たいへんうれしく思っています。
小柳枝 とても光栄な賞をいただ
き、はなはだ恐縮しています。私
は、「らくご（落後）者」ですから…。
一同 笑い

議長 小泉さんも、ミス織姫とし
て宿場まつりを大いに盛り上げて
くれましたね。
小泉 お客さんの多さにびっくり
しました。でも、みんなが笑顔で
手を振ってくれたので、しだいに
緊張も解けて、楽しめました。
小柳枝 へえ。織姫さんですか。
それでは私は彗星といきましょう。
一同 笑い
小泉 宿場まつりで多くの皆さん
と触れ合い、温かさを肌で感じる
ことができました。それは昨年い
ちばんの思い出です。皆さんにと
って昨年はどんな年でしたか。
議長 市議会は、6月の市議会議
員選挙で5人の新議員を迎え、新
たな船出となりました。私自身も、
議長という大役を担っただけでな
く、最年長にもなりましたので、
今まで以上に身の引き締まるよう
な思いがした1年でした。
小柳枝 私が世話になっている、
落語芸術協会は、昨年、内閣府か
ら公益社団法人の認可を受けるこ
う大きな出来事がありました。
市長 小柳枝さんは協会の理事を
務めていらつしやいますね。
小柳枝 はい。私たちが日々精進
している芸に、お墨付きをいただ
いたようで、うれしく思います。
小泉 毎日お忙しそうですね。
小柳枝 休みなしですが、昨年は、

居合いの稽古にも精を出したんで
すよ。週1回、南公民館で先生に
教わり、12とおりある型をなんと
か覚えましてね。楽しみの1つで
す。市長さんは昨年、再選されま
したね。おめでとうございます。
市長 ありがとうございます。蕨
駅のエレベーター設置や中学卒業
までの医療費無料化、市立病院の
黒字化、市財政の健全化など、お約
束したマニフェストの着実な実現、
市民の皆さんとの触れ合いを深め、
ともに市政を推進するなど、1期目
に進めてきた「あったか市政」を積
極的に評価していただいたものと、
たいへんうれしく思っています。
小泉 駅のエレベーターは、皆さ
んに喜ばれていますね。
市長 市民の皆さんに喜んでいた
だけることがいちばんです。2期

目では、こうした成果を踏まえて、
新しいマニフェスト「新あったか
プラン」で、蕨のまちの3つのビ
ジョン（①安全安心のまち、②に
ぎわいと活力のあるまち、③子ど
もとお年寄り、障害者に優しいま
ち）と41の推進項目を掲げていま
すが、昨年は、その実現に向けて、
新たな一歩を踏み出した年でもあ
りました。
小柳枝 そういえば、70歳以上が
対象の、肺炎球菌ワクチン助成も
始まりましたね。早速受けました。
市長 お役に立ててよかったです。
今、市民の安全安心や健康を守る
ことを市政の重点課題として進め
ており、「新あったかプラン」で
掲げた小学校へのエアコン設置や
子宮頸がんワクチンへの公費助成
も実施することができました。

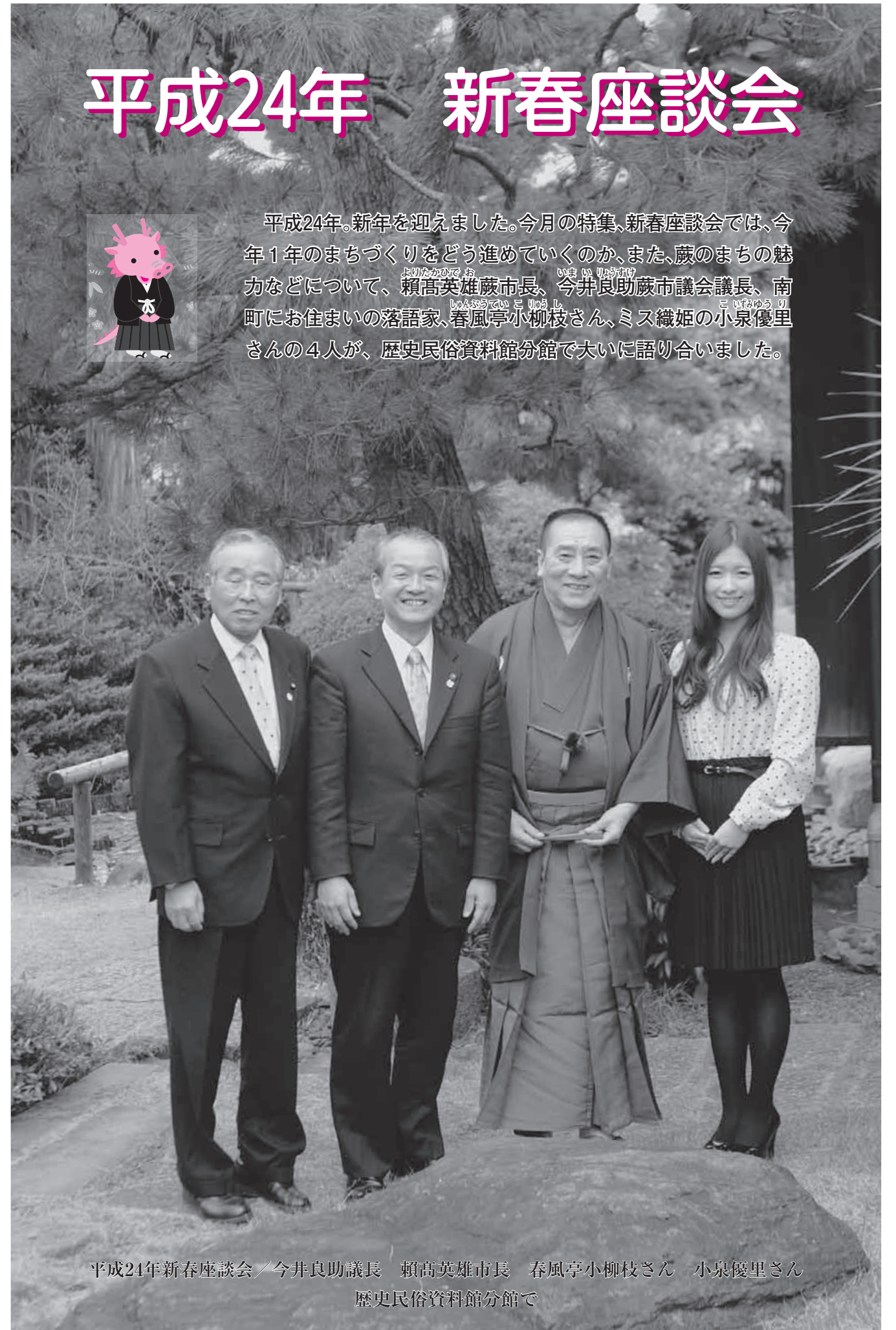
平成23年 市政この1年ベスト10

1	市内全小学校の普通教室、特別 教室へのエアコン設置	7月
2	東日本大震災の被災地支援と福 島第一原発事故に伴う放射線への 対応	3月
3	全ての小・中学校校舎耐震補強 工事が完了	10月
4	わらび公園地下雨水調整池築造 工事開始	10月
5	蕨市長選挙(頼高英雄市長再選・ 2期目)	6月
6	アウトメディア宣言の制定	7月
7	蕨駅東口にエレベーター設置	3月
8	わらびネットワークステーショ ンオープン	6月
9	ワンデイシェフレストランプ らっとオープン	10月
10	けやき保育園の開園(民間認可)	4月

平成24年 新春座談会



平成24年。新年を迎えました。今月の特集、新春座談会では、今
年1年のまちづくりをどう進めていくのか、また、蕨のまちの魅
力などについて、^{よりたかひで}頼高英雄蕨市長、^{いま いりあすけ}今井良助蕨市議会議長、南
町にお住まいの落語家、^{いんせうてい こりあし}春風亭小柳枝さん、ミス織姫の小泉優里
さんの4人が、歴史民俗資料館分館で大いに語り合いました。



平成24年新春座談会／今井良助議長 頼高英雄市長 春風亭小柳枝さん 小泉優里さん
歴史民俗資料館分館で



落語家 **春風亭 小柳枝**
南町在住・75歳

Profile

サラリーマン生活を経て、昭和40年、4代目春風亭柳好に入門。51年に春風亭柳昇門下となり、53年に真打昇進、9代目春風亭小柳枝を襲名。昭和51年度NHK新人落語コンクール優秀賞、平成3年度文化庁芸術祭賞受賞。現在、落語芸術協会理事を務める



蕨市議会 議長 **今井 良助**
中央在住・71歳

地域の絆たいせつにして

すね。古典落語では「時そば」を知っています。
小柳枝 「笑点」は落語じゃなくて、落語家の余興ですよ（笑い）。
市長 そばといえば、議長もおいしいおそばを打っていますよね。
議長 ワンデイスエフレストランぶらつとのことですね。市民の皆さんが日替わりでランチを提供するというユニークなお店なんです。
市長 地域力が高い、蕨ならではのですね。市民意識調査でも、2年連続で70%以上のかたが蕨に愛着を感じているという結果が出ています。これは、長年にわたる市民の皆さんの豊かな地域活動を通じて培われてきたもので、非常に大きな財産です。今、更なる協働の推進に向けて、新たな条例の準備を進めているところです。
小柳枝 なるほど。私も蕨に愛着

を感じている一人です。小泉さんは、今年、成年式発祥の地、蕨で成年式を迎えられますね。どんな1年にしたいですか。
小泉 成年式の立ち上げに祖父も携わったと聞いていますので、特別な思いがあります。今年は大好きな蕨のまちをもっと知って、何かお役に立ちたいと思っています。
市長 成年式のように、先人たちが作り上げたものをしっかりと引き継いでいくことは、まちづくりにおいてたいせつなことですね。
小柳枝 落語の世界においても、伝統芸ですので、引き継いでいく責務があります。自分のものにしたら、それを後世に伝えていきたい、というのが昔からの思いです。
議長 小柳枝さん、まずは、お互い健康ですかね。
小柳枝 はい。寄席は10日区切り

で開かれ1年中休みがありません。今年の年賀状には、「初春や不老の龍にあやからん」としたためました。2月には、また蕨で落語をやらせていただきますので楽しみにしてください。
議長 私は、しっかりと議会運営を進め、皆さんにいつまでも住みたいと思ってもらえるまちにしたいと考えています。そのために、行政と議会が両輪となってまちづくりを進めていきたいと思っています。
小泉 市長さんはいかがですか。
市長 先ほどお話しした、3つのビジョンを形にしていくなにしていきたいと思っています。中学校のエアコン設置や小・中学校の校舎耐震化に続く体育館の耐震化への取り組み、更には、地域貢献活動に対するポイント制度の導入や、太陽光発電に対する助成なども計画しています。

小泉 ぜひ実現させてください。
市長 はい。もちろん施策の中身もたいせつですが、蕨は、先ほどからのお話でもあるように、地域での行事がとても活発で、地域の触れ合い、絆が深いまちです。そのことは、住みよいまちづくりにとっても、災害に強いまちづくりにとっても、たいせつなことですね。蕨が誇るいちばんの魅力でもあります。これからも、地域の絆をたいせつにしたまちづくりを進めていきたいと思っています。
小柳枝 「笑顔に勝る化粧なし」という言葉があります。皆さんが笑顔で暮らせるまちづくりに大いに期待しています。
一同 いい言葉ですね。
小柳枝 お後がよろしいようで。一同 今年1年、皆さんにとってよい1年でありますように。

魅力あるまちづくりを

人と人つながり感じた1年
小泉 皆さん、それぞれ昨年の思いがありますが、忘れられないのが、やはり3月11日の震災です。
市長 震災後、被災地への職員派遣や避難所の提供、計画停電や放射線への対応など、日々、状況が変化するなかで、市として、できる限りの対応に努めてきました。そして、被災地支援のために私自身も先頭に立つて行った、蕨駅前での街頭募金では、2時間で約100万円もの募金をお寄せいただき、あらためて、市民の皆さんの心の温かさに感激しました。
小泉 うれしいことですよね。私は大学で世界の文化を学んでいますが、震災後、ほんとうに多くの国々が日本に支援の手を差し伸べ

てくれたことに感謝しています。
議長 11月には、蕨市と姉妹都市のアメリカ・エルドラド郡からも、エルビス・プレスリーのそっくりさんが来て、チャリティーコンサートを開いてくれたんですよ。
市長 そうですね。友好都市のドイツ・リンデン市からも、約900万円もの義援金寄せられ、市民交流協会の皆さんと一っしょに、送付先の宮城県山元町にお届けに上がりましたが、震災を機に、そうした多くの皆さんの助け合う心や絆が広がったように感じています。
小柳枝 落語芸術協会でも、ずいぶん被災地を訪問しました。仮設住宅の皆さんや空っぽになった学校など、忘れられない光景です。そんななか、私たちにできることは、少しでも笑顔を取り戻して

らうこと。喜んでもらえてほんとうにうれしかった。
小泉 人と人とのつながりって、たいせつですよ。そうした点でみると、蕨って東京に近くて便利なまちだけど、小さなまちのよさというか、お互いの顔が見えるつきあいができますよね。だから地元の人とも仲がいいんです。
小柳枝 昨年、蕨で寄席をやらせてもらいましたが、知り合いもいっぱい来てくれて独演会のような気分でした。地元は安心感がありますね。蕨に長くいるんだなど、あらためて親しみを感じています。
議長 私の住んでいる地域にある公園は、自分たちの公園として自主管理しているから、とってもきれいなんです。地域の人に喜んでもらおうという思いで、四季折々

の花を咲かせているんですよ。
市長 ねむのき公園ですね。先月、公園に咲く皇帝ダリアの新聞記事が出ていましたね。
議長 あじさいまつりやクリスマスイルミネーションなど、1年中、地域の皆さんで和気あいあいです。
小柳枝 それはすばらしいですね。
市長 蕨のまちには中山道をはじめとする歴史や文化があり、お話にもあったように東京に近くてたいへん便利、それでいてコミュニケーションが豊かなまちです。この3つがバランスよく共存している、これが蕨の大きな魅力だと思います。
絆たいせつにして市政推進
議長 ところで小泉さんは、落語を見る機会がありますか。
小泉 はい。「笑点」は大好きで



蕨市長 **頼高 英雄**
北町在住・48歳

2012 新春座談会



ミス織姫 **小泉 優里**
北町在住・20歳



第1回出席者が語る ～成年式の思い出～

全国に先駆けて行われた成年式はどのようなものだったのでしょうか。第1回目の出席者で、蕨第一国民学校の同期生でもある萩原績恵さんと黒川ヌイさんに語っていただきました。

萩原 終戦当時、大学生だった私は青年団に所属していました。駅前にテントを張り、戦地から復員してくる人たちを迎え入れる活動をしていましたが、皆さんの表情はほんとうに暗く、正に虚脱状態のひと言でした。

黒川 あの頃は、男性はみんな、青年団活動に携わっていましたね。私は実家の床屋を手伝うのに必死でした。

萩原 成年式は、そんな虚脱状態の若者を勇気づけたいと、当時の青年団長だった高橋庄次郎さんが元町議会議員の小泉泰次郎さんと相談して企画したんです。泰次郎さんの息子・徹馬くんは、私と同級生なんです。彼が熱心に広報活動をしていてのを覚えています。

黒川 そうでしたか。式典当日は、20歳の若者だけでなく、町民がおおぜい集まって盛況でしたね。今のようないない着物なんてもちろん着れなくて…。



はぎわら せきよし 萩原 績恵さん・84歳

私はたしか、もんぺ姿にげた履きで出席したと思います。

萩原 私は学ランだったかな。

黒川 当時は、「お祭りがあから行った」程度の認識でしたが、それが「成人の日」の基になるなんて。

萩原 振り返ると、歴史的な第1回目に出席したことは私たちの誇りですね。

黒川 近年、式典が荒れる自治体もありますが、蕨は「成年式発祥の地」らしく厳かに行われているそうです。

萩原 大人になるということは、自由であると同時に、責任も伴います。新成人の皆さんにはこれから先、幾多の困難が待っているかもしれません。でも、常に夢と希望を持ち続け、1つ1つ乗り越えてほしいですね。

黒川 学生時代に育んだ友情はいつまでも変わらないもの。成年式では、旧友との再会を楽しんでほしいわ。



くろかわ ヌイさん・84歳



式典は、今年も新成人を代表する12人の成年式実行委員が企画・運営を担当。皆さんは、一生の思い出に残る式典にしようと、昨年10月から話し合いを重ねてきました。

式典では、青年の主張や20歳の誓いを実行委員が発表するほか、蕨フィルハーモニックウインズと蕨男声合唱団の皆さんが、演奏と合唱で門出をお祝いします。また、中学校時代の恩師から激励の言葉もいただく予定です。

時代が移り変わっても、成年式を迎える皆さんが、未来の日本を築いていく大きな力となることに変わりはありません。「互いに励まし合い、未来に望む」という青年団の思いを受け止め、夢と希望を持って「成年式発祥の地・蕨」から、大人への第一歩を踏み出してほしいと思います。

思い出に残る式典にしようと張り切る実行委員の皆さん



成年式実行委員の氏名と役割

実行委員長／狩野弘輝さん
副実行委員長／小宮山未紗さん・関谷玲奈さん
司会／富田麻理子さん・古部菜摘さん
青年の主張／佐々木慶介さん・田端李奈さん
20歳の誓い／石山修さん・半澤彩乃さん
会場係／志村俊さん・三村隆吾さん・丸山紘大さん

案内状のない人は連絡を「成年式のご案内」が届いていない人や、蕨市出身で市外在住の出席希望者は、市役所3階生涯学習課（☎433・7729）へご連絡ください。

特集：成年式

蕨から始まった成年式

新成人の皆さん、おめでとうございます。全国に先駆けて行われた蕨の成年式は今年で66回目を迎えます。6、7ページでは、伝統ある成年式の由来や当時の様子、今年の成年式実行委員をご紹介します。



昭和21年11月22日
蕨第一国民学校（現・北小学校）で



「成年式発祥の地記念像」の前で
記念撮影（平成23年1月）

青年団が発案した成年式

昭和21年11月22日、蕨第一国民学校（現在の北小学校）には、「青年祭」のアーチが誇らしげに掲げられました。蕨町青年団と町が共催で、同日から3日間にわたり開催された「第1回蕨町青年祭」。その最初のプログラムが全国に先駆けて行われた「成年式」でした。

戦後の混乱期、多くの国民が虚脱状態にあり、明日への希望を見いだせないでいました。戦後いち早く発足した蕨町青年団は、「今の日本を立ち直らせるためには若い世代の奮起しかない。大人の自覚を持たせる行事をやろう」と、成年式を企画したのです。

対象者は、大正15年11月22日から昭和2年11月21日まで生まれ、町内には、ほご紙（書き損じなどの不要な紙）の裏に印刷した、次のような案内状が回覧されました。

「全国二魁ア、本年成年二達スルモノノ為メニ 別紙要項ニ依り式典其ノ他ヲ実施致シマス」。この呼びかけに、カーキ色の国民服やもんぺ姿の若者約100人が来場。町長や来賓からの激励を受け、出席

者も誓いの言葉で応えました。式典以外にも、文化展覧会や芸能大会、物々交換など多彩な催しや、人工甘味料で味付けしたお汁粉や芋菓子、紅茶などもふるまわれ、青年たちに喜ばれたそうです。

娯楽や物資が乏しかった時代に、団員の熱意と創意工夫によって町の一大イベントとして開催された青年祭は、暗く沈んだ青年たちの心に再び明かりをともし始めました。

その意義が評価され、2年後の昭和23年7月、国民の祝日として、「成人の日」が制定されました。蕨から発信された青年団の熱い思いは、全国に広がり、各地で成人式が開催されるようになったのです。

一般的には成人式。でも、蕨市では、全国に先駆けて行った伝統と当時の青年たちの思いを引き継いで、今でも成年式の名称で、新成人をお祝っています。

人生を見つめなおす日に

今月9日、市民会館で開催される「第66回成年式」では、677人（昨年12月20日現在）の新成人の皆さんが、大人への仲間入りをされます。

情報ダイヤル

掲載は無料です
図秘書広報課 (☎433・7703)

〔仲間になりませんか〕

▶**蕨市南剣道クラブ** ①火曜日 午後6時半 ②土曜日 午後6時 南小学校 月2,000円(未就学児は月500円) 年長～小学生 兄弟で加入の場合割引あり<沼野井・☎442・1787>

▶**ABCクラブ(幼児英会話)** 第2・4木曜日 午後4時半 南公民館 月1,500円 年中・年長児 無料体験あり<新田・☎090・9969・2451>

▶**和楽備ラジオ体操絆の会** 月・水・金曜日 午前6時20分 城址公園 雨天中止<平田・☎444・2222>

▶**蕨インドアテニスクラブ(硬式テニス)** 水曜日 午前9時 市民体育館 月3,500円 経験者希望 コーチ指導あり<菊地・☎443・6611>

▶**南園基クラブ** 火曜日 午前9時半 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶**楊名時(太極拳)** 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

▶**ABCキッズ(幼児英会話)** 月3回 水曜日 ①午前9時半 ②午前10時半 旭町公民館か北町公民館 月2,100円 未就園児<鶴納・☎090・8016・2255>

〔参加しませんか〕

▶**くるるダンスパーティ** 7日・21日・26日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

▶**イキイキ健康講座「脳のトレーニングとリンパ療法体験を」** 22日 午前10時 市民会館 300円<平田・☎090・3131・9399>

▶**社交ダンススウィックステップ講習会(アドバンス)** 2月3日～3月30日 金曜日 午後7時半 福祉・児童センター 無料<高橋・☎090・9329・6741>

▶**星の話を聴く会(蕨ネイチャークラブ)** 2月4日 午前10時 旭町公民館 小学5年生～中学生(親子で参加も可) 先着30人(申し込みは9日から) 無料 はやぶさの帰還や宇宙での生活など<同館・☎432・4050>

〔ご相談ください〕

▶**蕨断酒会(酒害相談)** 10日＝中央公民館 18日＝南公民館 26日＝旭町公民館 午後7時<岡田・☎441・3172>



ま ち の 話 題

12月6日・13日、中央公民館で、「来年の干支『辰』を描こう」が開かれ、18人が参加しました。蕨中央水彩画クラブ講師の若月富士夫さんによる指導の下、鉛筆での下絵から墨や絵の具での色付けまで、丁寧な辰を描写。作品を眺めながら一足早く新年の雰囲気を感じました。

利用者たちと公園巡りや施設見学をする、地域子育て支援センターこっぴよの「おでかけ隊」が、12月9日、消防署を見学しました。迫力満点の消防車や救急車を前に、説明を熱心に聞き入る親子19組。他にも、腹話術とアニメで火災予防について、楽しみながら学びました。

12月9日、高橋勝之さん(写真右)と南雲国雄さん(同左)から塚越稲荷神社で巨大なカラスの巣を発見との情報をいただきました。巣は高さ25メートルの木の枝にあったそうで、針金製ハンガー300本以上を使い縦横1メートルの大きさ。3月まで境内に展示するそうです。

12月11日、第一中学校と大荒田ランニングコース周辺を会場に、「第52回蕨市民ロードレース大会」が開かれました。参加した小学生から大人まで750人は、年齢に合わせて、2キロ、3キロ、5キロを元気いっぱい走り抜け、新記録も出るなど、健脚を大いに競い合いました。

県南4市まちづくり協議会主催の野球教室が12月17日、ヤクルトスワローズ戸田球場で開かれました。蕨市からは7チーム、52人の小学生が参加し、大矢明彦さんら元プロ選手11人による、打球や打撃などの熱心な指導に目を輝かせながら、白球を追いかけていました。

新年に先駆け辰を制作



おでかけ隊消防署見学



神社に巨大カラスの巣



力走ロードレース大会



子ども野球教室を開催



今の写真は、先月11日、「合祀百周年祭」のときに撮影したものです。当日は、社殿での奉告祭をはじめ、市民会館では、記念式典や水前寺清子さんによる歌謡ショーなども行われ、約700人の皆さんとともに100周年を盛大にお祝いしました。

鉄道マンの情熱でブルートレイン復活

「日本のブルートレインを復活させる」というマレーシアの国家プロジェクトに貢献した荒井貞夫さんをご紹介します。

マレー語で熱血指導

寝台列車ブルートレイン。昭和30年代から多くの人を乗せて走った列車です。しかし、近年は他の交通網の整備が進み、廃止が続いています。そのブルートレインをマレーシアで復活させる「マレーシア・ブルートレイン・プロジェクト」。JICA(国際協力機構)の技術専門家として大きく貢献したのは、荒井貞夫さん(中央1丁目・72歳)です。きっかけは昨年2月、

マレーシアで行った鉄道技術者への講習会でした。ブルートレインを運行させるため、車体改造や整備方法を説明。でも、複雑な構造にお手上げの技術者たちは、再研修や現地指導を懇願してきました。鉄道車両メーカーの技術者として、世界を飛び回ってきた荒井さん。同じ鉄道マンとして技術者たちの熱意に心を打たれ、関係機関と交渉を重ねて、予定を組み直しました。

8月。北海道で行われた3週間の研修には、国の期待を背負った8人の技術者たちが参加し、昼夜を問わず学び続けました。慣れない環境でも、貪欲で粘り強く学ぶ姿勢に、「指導にも熱が入った」と荒井さん。流暢なマレー語で技術者たちとの距離を縮めながら、指導を繰り返しました。

9月からはマレーシアへ。長い間、動かしていないエンジンや発電機の整備など問題は山積みでしたが、根気よく、指導

を続けました。最も気を遣ったのがブレーキの扱い。安全性や乗り心地が重要な列車にとって、毎日ミリ単位の整備が必要です。技術者たちのおおらかな気質を考え、何度もその必要性を説きました。文化の違いを理解する、経験豊富な荒井さんならではの指導法です。

そんな根っからの鉄道マンである荒井さんは、地域の放課後子ども教室や市の国際交流事業などの支援も熱心に行っています。今後は、「鉄道の歴史や蕨との関係を子どもたちに伝えていきたい」と力強く語ります。

更なる鉄道の普及を
ついに迎えた10月の試乗会。みごと試運転に合格し、列車、技術者とも自信を持って送り出したという言葉どおり、乗客からは「乗り心地がよかった」と力強く語ります。

「自分の持っている知識を多くの人に伝えていきたい」と荒井さん



「自分の持っている知識を多くの人に伝えていきたい」と荒井さん

「ブルートレインを復活させる」というマレーシアの国家プロジェクトに貢献した荒井貞夫さんをご紹介します。

マレーシアで行った鉄道技術者への講習会でした。ブルートレインを運行させるため、車体改造や整備方法を説明。でも、複雑な構造にお手上げの技術者たちは、再研修や現地指導を懇願してきました。鉄道車両メーカーの技術者として、世界を飛び回ってきた荒井さん。同じ鉄道マンとして技術者たちの熱意に心を打たれ、関係機関と交渉を重ねて、予定を組み直しました。

8月。北海道で行われた3週間の研修には、国の期待を背負った8人の技術者たちが参加し、昼夜を問わず学び続けました。慣れない環境でも、貪欲で粘り強く学ぶ姿勢に、「指導にも熱が入った」と荒井さん。流暢なマレー語で技術者たちとの距離を縮めながら、指導を繰り返しました。

9月からはマレーシアへ。長い間、動かしていないエンジンや発電機の整備など問題は山積みでしたが、根気よく、指導



試乗会で現地鉄道公社総裁と握手 本人提供

「ブルートレインを復活させる」というマレーシアの国家プロジェクトに貢献した荒井貞夫さんをご紹介します。

和楽備神社
合祀100周年

語る人
和楽備神社は、室町時代に、蕨城主渋川公が守り神として八幡大神をお祀りしたのが始まりといわれています。江戸時代には蕨八幡、上の宮と呼ばれ、中の宮、下の宮とともに、蕨宿三鎮守として重きをなしていました。

昔の写真は、明治44年、蕨町内にあった18のお社を合祀したときの様子です。江戸末期に作られた拝殿(写真中央)は、神社の大鳥居をくぐった右側に現存しています。また、合祀の際、当時の岡田健次郎町長の草案をもとに、東宮侍講の本居豊頼博士によって和楽備神社と選定され、現在私が3代目の宮司を務めています。



蕨環境整備センター

さく まいだいすけ 佐久間大輔さん
やまうち いさお 山内 功さん

ごみ分別ルール守って
「先月6日、ごみ収集作業中に手首を切り、7針縫うけがを負いました。もやごみの中に混ざっていた瀬戸物が原因です」と話すのは、蕨環境整備センターの山内功さん。「こうした事故は、年に3、4件あり、大事に至らなくとも、私たち作業員がひやりとするケースは後を絶ちません」と、同僚の



優しさの「環境行動」

佐久間大輔さん。今回は分別の不徹底による事故でしたが、他にも、どのようなケースがあるのでしょうか。もやごみでも、捨てる前に処理をお願いしたい物があるそうです。それは、竹串やつまようじなど、先の鋭利な物。今回のようなけがにつながるおそれがあるため、紙にくるむなどの処理をお願いします。また、油や塗料など、液体が入ったままの容器は、飛散して道路が汚れる原因にもなります。紙に吸い込まれるようにしてください。市民の皆さんが生活する上で必ず出るごみ。ほぼ毎日約600か所を回る収集作業は、素早さが求められ、常に危険と隣り合わせの状態です。「このくらいは、いいだろう」ではなく、こうした事故が起きないように、ごみの分別や持ち出しのルールを守り、住む人みんなが清潔で快適な生活を送れるよう、ご理解とご協力をお願いします。お問い合わせ〓安全安心推進課生活環境係（☎443・3706）



目指せ！ラストワン検定合格者 子どもクラブ

塚越児童館

塚越児童館で大人気なのは、頭脳ゲーム「ラストワン」。まず目に置かれたビー玉を1個飛ばしで移動させ、飛び越したビー玉を外していき、最後の1個を中央に残さないといけないという、単純ですが奥深いゲームです。初級から上級まで20種類あり、全て解けると合格です。検定発案者の長島静江館長でも解けない種類があるとか。昨年夏から始まり、合格者は11人。合格すると検定員となり、不正がないかをチェックします。「解けると快感」と評判のこのゲーム、皆さんも挑戦してみたい方がたくさんいます。

「姉の優衣(上)は、弟の瑠惟(下)が私のおなかにいる頃、妊婦健診時に撮影したエコーの動画を見る度に、『動いてるね』、『かわいいね』と、誕生を楽しみにしていました。そんな優衣の夢は弟と歌のお兄さん・お姉さんに



優衣ちゃん (4歳9か月)
瑠惟ちゃん (7か月)
たむら しんいち 田村 晋一さん
知美さんの
長女・長男
中央7丁目

わが家のアイドル

—477—

防犯一口メモ



**市内全中学・高校へ
自転車ロックを配布**
市内では、町会を中心とした防犯パトロールをはじめ、関係団体のご協力の下、昨年11月までの犯罪認知件数は1368

件と、前年と比べ302件減少しました。一方、犯罪の種類別にみると、自転車盗難が438件と最も多く、前年比で175件減少したものの、依然高い割合を占めています。また、被害者の年齢別では、全体の約3割が10代という統計も出ています。そこで市では、自転車の盗難防止のため、今月、市内の全中学・高校の生徒に、自転車ロックを配布します。皆さんも、施錠はもちろん、たいせつな自転車を守るため二重ロックを心がけましょう。

アンチエイジングで いつまでも 健康で若々しく

いつまでも健康で若々しくいたい。そんな願いを老化の予防や原因の克服で実現しようとする医学がアンチエイジングです。そこで、今月20日から30歳以上の女性を対象に専門外来を始める、蕨市立病院の柴田優子産婦人科医師にお話を聞きました。

親と子の ニュースの 小窓



日本抗加齢医学会専門医の資格を持つ柴田医師

バランスの良い老化が健康の秘けつ
お母さん 今度、蕨市立病院でアンチエイジングの外来が始まるそうよ。ワラビ お母さん、肌が若返って、もつと美人になれるかもよ？どんなこととするか聞きに行こう。柴田医師 こんにちは。アンチエイジング外来は、老化の予防や原因を克服すること、その年齢にとって、最もいい健康状態にすることが目的です。それが見た目の若々しさにつながりますよ。ワラビ そんなことできるの？ 柴田医師 生活習慣を見直すことで可能です。そのためには、まずは検査をして、状態を把握する必要がありますね。お母さん どんな検査？ 柴田医師 脳、血管、骨、ワラビ 専門外来はいつから始まるの？ 柴田医師 20日からです。毎週金曜日、女性のみを対象に予約制で行います。ホルモン、筋肉といった5項目の年齢を調べたり、体内のストレス状態やストレスへの抵抗力などを調べたりします。ワラビ いろいろなこと調べるんだね。柴田医師 5項目の年齢が実年齢と同じ場合や若い場合は、老化の進行がバランスよく、健康な証拠です。1つでも高い項目があると、病気の原因になりやすいんですよ。お母さん それは放っておけないわね。柴田医師 そのために、具体的な指導をしますよ。例えば、骨年齢が実際よりも高い人は、骨粗しょう症に注意が必要なので、ミネラルを多く含んだ食事やウォーキングなどを勧めます。



血管年齢検査は機器を使って測定します

ず、その人にとって1日でも早く生活習慣を見直すことがたいせつです。その効果として、動脈硬化やがんなどの発病率を下げたり、将来、寝たきりになることが防げたりするんですよ。お母さん 健康的に長生きができそう。診察はどんな流れなのかしら？ 柴田医師 診察・検査と結果報告の2回に分けて行います。金額は内容によって異なりますが、自費診療で1万5000円前後です。お母さん その後も定期的に相談していきたいわ。柴田医師 ご希望のかたには、フォローを続けますよ。また、女性特有の体の悩みについても、お気軽にご相談ください。お問い合わせ〓蕨市立病院(☎432・2277)



音楽教育で子どもたちに笑顔を

輝いていまひと

リトミック研究センター認定講師

鈴木美奈子さん

音

楽に合わせて体を動かし、音感やリズム感などを養うリトミック。スキンシップや友達との触れ合いなどによって、心も豊かにしてくれます。そんなリトミックを通じて、地域に笑顔の輪を広げているのは、鈴木美奈子さん（塚越6丁目・38歳）です。

悩んでいた鈴木さんは、保育園でよく相談をしていました。いつも笑顔で話を聞いてくれる保育士と接しているうちに、「自分も同じように誰かの役に立ちたい」という気持ちで芽生えたのです。そして一念発起し、育児をしながら、合格率が約11%ともいわれる保育士試験に一発合格しました。更に、「経験を積みたい」と、中央公民館の1歳児までの親子交流の場「子育てぴよちゃん」のボランティアに。また、日本最大のリトミック指導者組織、「特定非営利活動法人リトミック研究センター」の研修会に参加し、同センターの認定講師にもなりました。

現在もびよちゃんのスタッフとして活躍するほか、東公民館の家庭教育学級「スクスクおひさま広場」の講師を定期的に務めるなど、着実に保育者としての幅を広げています。「いつかリトミックの教室を開きたい」と、笑顔を見せる鈴木さん。その明るさでみんなの心を温めてくれています。

中山道まち歩き

No.9

中央6丁目の買継商

Check!

中央6丁目
まえかわ ゆかり
前川 由佳利さん

出産に伴い、蔵に來たばかり。赤ちゃんと散歩したとき、街並みに合ったすてきな建物だなと思っていました。これからも中山道の散策を楽しみたいです。

市

内を通る中山道は、中央6丁目から錦町5丁目のさいたま市との境まで約2^{キロ}。現在も、江戸後期から昭和初期の建物が点在しています。

描かれているのは、明治41年に建てられた中央6丁目の細井家です。藤田屋という屋号で買継商を営んでいた細井家は、幕末から明治初期にかけて創業したといわれています。織物取引の仲立ちをしていた買継商。市の日には、品物を持ち込んだ機屋と、それを買求める問屋などで帳場はにぎわったそうです。また、蔵の品質のよい織物を買いたい求めで、都内から汽車で来る問屋も多くいました。都内の問屋との取引に必要だったのか、細井家では明治45年に電話を設置しました。電話はその前年、蔵に開通したばかりの高級品。家の中に電話を入れる小部屋を作り、たいせつに扱っていたそうです。

写真は平成22年に建て直した現在の建物。瓦屋根や格子などに加え、室内は帳場の雰囲気が残る造りとなっています。そんな建物は、「中仙道蔵宿まちづくり協議会」により、歴史的・文化的資源の高い建築物として景観建築物に指定されています。

写真は平成22年に建て直した現在の建物。瓦屋根や格子などに加え、室内は帳場の雰囲気が残る造りとなっています。そんな建物は、「中仙道蔵宿まちづくり協議会」により、歴史的・文化的資源の高い建築物として景観建築物に指定されています。

写真は平成22年に建て直した現在の建物。瓦屋根や格子などに加え、室内は帳場の雰囲気が残る造りとなっています。そんな建物は、「中仙道蔵宿まちづくり協議会」により、歴史的・文化的資源の高い建築物として景観建築物に指定されています。



歴史の面影を残す建物です



絵／當摩 源一郎さん